

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		特別養護老人ホーム建設費補助				所管	福祉部 高齢福祉課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]				[終了予定] 平成 3 0 年度		
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区特別養護老人ホーム等建設費助成要綱			
	事業対象	直接の対象: 社会福祉法人 楽友会 外9法人 最終的な対象: 区外特別養護老人ホーム入所者						
	事業目的	青梅市や多摩市など区外の特別養護老人ホームに台東区民の利用優先枠を確保することで、特別養護老人ホーム等の施設入所を希望する利用待機者の減少を図る。						
	事業内容	特別養護老人ホームの基盤整備の一環として、区外の特別養護老人ホームを運営する法人に対して、建設費の補助を行うことにより、台東区民の利用優先枠を確保する。(ベッド確保)						
委託の有無			委託内容					
補助金の有無								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	対象法人数	法人	10	10	10	10	
		成果指標	確保ベッド数	床	60	60	60	60
	決算額 (単位: 千円)				16,503	16,503	16,502	
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)		720	333	341		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)		4	0	3		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)		16,500	16,503	16,500		
		総経費		17,224	16,836	16,844		
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)		0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)		0	0	0		
		一般財源 (区負担額)		17,224	16,836	16,884		
前年度から改善した事項		確保ベッド数に変動はなく、引き続き適正に執行されている。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	高齢者人口の増加に伴い、引き続き高いニーズが見込まれる。					
	効率性	3	事業コストに変化はないものの、事業の効果は大きい。					
	手段の適切性	3	特別養護老人ホームにおける待機者の減少を図る上で有効な手段である。					
	目的達成度	4	継続して確保したベッドは、区民の優先枠として利用されていることから、事業目的は十分に達成されている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
特別養護老人ホームにおける待機者の減少を図る上で有効な手段であることから、今後も確保ベッド数を維持していく必要がある。						維持		